

2025年3月14日

各位

会社名 インспек株式会社
代表者名 代表取締役社長 菅原 雅史
(コード番号：6656 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員管理部長 佐藤 保
TEL 0187-54-1888 (代表)

露光装置事業からの撤退、特別損失の計上、業績予想の修正及び 剰余金の配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、露光装置事業から撤退することを決議いたしました。これに伴い、特別損失を計上するとともに2024年6月14日に公表いたしました2025年4月期の通期業績予想及び剰余金の配当予想を修正することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 露光装置事業からの撤退について

当社は、半導体パッケージ基板やFPC（フレキシブルプリント基板）の検査装置事業を主力事業として技術革新と市場のニーズに対応した製品開発に取り組んでおります。2019年12月に新たな事業の柱とすべくFPC向けの露光装置を開発し、露光装置事業に参入して成長を目指してまいりましたが、この度、同事業から撤退することを決定いたしました。

露光装置事業の展開にあたっては、FPCの国内大手メーカーの協力のもと露光評価テストを積み重ね、市場拡大に向けた投資を進めてまいりました。しかしながら、近年の電気自動車産業の停滞によりEV向けFPC市場の成長が鈍化し、当初の想定を大きく下回る需要減少が発生いたしました。

この結果、市場環境の回復が短期的には見込まれないこと、経営資源を市場が拡大している半導体パッケージ基板事業へ集中させることが中長期的な企業価値の向上に資すると判断し、露光装置事業からの撤退を決定いたしました。

当社の主力事業であります検査装置事業は、現在、生成AIの発展によりデータセンター向けの大規模投資が続いており、半導体パッケージ基板及びインターポザー向け検査装置の新規需要の高まりにより当社の主力製品である高性能検査装置の引き合いが増加しております。今後は当該事業に社内リソースを集約し、技術開発の強化と市場ニーズへの迅速な対応を図ることで、拡大する需要に対応すべく、総力を挙げて取り組んでまいります。

2. 特別損失の計上について

2025年4月期第3四半期決算におきまして、上記「1. 露光装置事業からの撤退について」に記載の理由から、当該事業にかかる関連資産を事業撤退損として247百万円を特別損失に計上いたします。

3. 業績予想値の修正

2025年4月期（2024年5月1日～2025年4月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	2,350	100	100	80	19.97
今回発表予想（B）	2,200	100	100	△150	△37.44
増減額（B－A）	△150	0	0	△230	－
増減率（％）	△6.4	－	－	－	－
（ご参考）前期実績	1,668	△233	△263	△353	△88.34

4. 業績修正の理由

通期の業績予想につきましては、売上高は減少見込であるものの営業利益及び経常利益は予想通りの見込みです。当期純利益につきましては、上記「2. 特別損失の計上について」に記載のとおり事業撤退損 247 百万円を特別損失に計上することにより、前回業績予想を下回る見込みです。

5. 配当予想の修正

	年間配当		
	第2四半期末 （実績）	期末	合計
前回発表予想	0円00銭	3円00銭	3円00銭
今回修正予想	0円00銭	0円00銭	0円00銭
前期実績 （2024年4月期）	0円00銭	0円00銭	0円00銭

6. 配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様に対する長期的かつ総合的な利益の拡大を重要な経営目標と位置づけて、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針として取り組んでおります。

期末配当金につきましては「3円」としておりましたが、上記「3. 業績予想値の修正」にありますように業績数値及び上記方針を総合的に勘案した結果、誠に遺憾ながら当期の配当予想を「無配」へ修正させていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

（注）本資料に記載している業績予想等に関する将来に関する記述には、発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上